

## 第 32 回『なかま』実践研究集会について

平素は、人権教育の推進並びに本会発展のためご尽力を賜り深謝申し上げます。

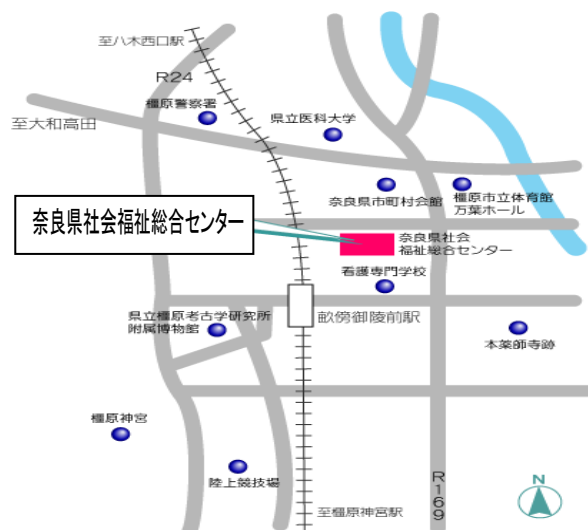
1960年に発刊された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改定され、『なかま』は、多くの学校・園・所において様々な授業実践が展開されています。また、県教育委員会からは「なかまとともに小学校1」が2012年度に、「なかまとともに小学校2」が2013年度に、「なかまとともに中学校」が2014年度に、そして「なかまとともに高等学校」が2015年度に発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第1回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告など、第32回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折りとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 主催 奈良県人権教育研究会
2. 期 日 2019年2月8日（金）
3. 会 場 奈良県社会福祉総合センター  
 橿原市大久保町 320-11  
 （近鉄畷傍御陵前駅 東出口から北東へ250m）  
 全体会：6F 大ホール  
 分科会：5F 研修室 B/C・6F 中会議室  
 \* 駐車場はありません。公共の交通機関でお越しいただくか、有料駐車場をご利用ください。



### 4. 研究テーマ

すべての子どもたちに、人権についての認識を深め、部落差別をはじめさまざまな人権の問題を正しく理解・認識させるために、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

### 5. 日 程

	全 体 会			
受付	挨拶 趣旨 説明	講演 部落問題学習について何をどう伝えていくのか ～教員生活をふり振り返りながら、今、思っていること～ 講師 泰山恵二さん（元 鴨公小学校教員）	移動	分 科 会
13:00	13:30	13:40	14:50	15:00
				16:30

6. 参加費 1,000円（資料代）

7. 参加申込 参加を希望される方は、参加申込書にて各郡市人教事務局まで、1月     日ま

で申し込んでください。

## 8. 全体会 講演 部落問題学習について何をどう伝えていくのか

～教員生活をふり返りながら、今、思っていること～

講師 泰山恵二さん(元 鴨公小学校教員)

わたしは、今まで、出会ってきた子どもたちが、生きていくために必要な世の中は「だれもかれもが生まれてきてよかった 生きていてよかった」と思えるような世の中だと思っています。だから、こんな世の中を創造していけるような子どもたちになってほしいと願って取り組んできました。その取組の中心に部落問題学習があります。その部落問題学習に取り組むことへの必要感についていっしょに考えたいと思っています。

## 9. 分科会

### ①現地学習会を通して

王寺町立王寺中学校 赤澤 千春さん

本校では、1年生で「障害者」問題について学習し、「差別とは何か」について学びます。そして、2年生では、部落問題について学習を行い、夏休みには希望者を募って現地学習会に行き、話を聞いたり、地場産業である草履づくりを実際に体験したりします。今回は、現地学習会に参加した子どもたちが、何を感じ、これからどのような生き方をすべきかについて考えたことを中心に報告します。

### ②命どう宝～沖縄戦から学ぶ～

橿原市立畝傍北小学校 中西 信貴さん

「自分自身を大切にしてほしい」「自他の命を大切にしてほしい」という願いをもって、取組に臨んだ。沖縄の人たちの壮絶な経験や、そんな状況の中、必死に生きようとした当時の人たちの生き様を学ぶことを通して、命の尊さに気づいた。また、彼らが大切にした『命どう宝』の教えを受け継ぎ、広くみんなに伝えていく必要性を感じるようになった。『なかま』をはじめとするさまざまな教材を使用し、また、当事者の方からの聞き取りを通して、取り組んだ沖縄戦の学習と、そこから見えた子どもたちや私自身の変容について報告する。

### ③人権学習どうしましょう？ ～部落問題領域について考える～

奈良県人権教育研究会 資料編集部会

私たち資料編集部会では、昨年一昨年度と『なかま』『なかまとともに』の活用をめざして、教材の活用の仕方について提案してきました。本年度、部会での話し合いの中で、県下では学校としての人権学習や部落問題学習の年間プログラムが形骸化していて、経験の少ない教員の中ではどう進めればいいのかという悩みがあることがわかりました。そこで、本年度は、小学校6年間の人権学習(部落問題領域)の一部を紹介したいと思います。

## 第32回『なかま』実践研究集会 参加申込書

所 属

校・園・所

No.	分科会 番号	名 前	No.	分科会 番号	名 前
1			3		
2			4		

各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください